

(公社)日本技術士会埼玉県支部 CPD 委員会 活動報告「埼玉大学技術士制度説明会 (5/23)」

報告日：2023年5月29日

1. 活動テーマ：埼玉大学での技術士制度の説明
2. 開催日時：2023年5月23日（火）14:40～16:10
3. 開催場所：総合研究棟1号館 シアター教室  
(埼玉県さいたま市桜区下大久保 255 TEL：048-858-3429)
4. 参加者人数：8名  
工学部機械工学科学生 3名、  
理工学研究科 工学部長 教授 重原孝臣氏  
産学官連携シニアコーディネーター 大久保俊彦氏  
(公社)日本技術士会埼玉県支部 伏見隆夫（講師）、近藤孝（随行者）、白岩信裕（随行者）

5. 説明用配布資料

- ①パンフレット「技術士試験 受験のすすめ」（公益社団法人日本技術士会 令和5年3月版）
  - ②レジュメ「技術士制度について～制度及び技術士試験の概要～」(パンフレットの補完資料)
- なお、制度説明は、配布資料を活用しつつPPTにて実施した。

6. 実施記録

主催者（工学部長 教授 重原孝臣氏）より開始が告げられ以下内容で説明を行った。

6. 1 (公社)日本技術士会埼玉県支部の紹介

埼玉県支部副支部長 近藤孝（金属）

埼玉県支部の紹介の後、当該説明会を契機に技術士（資格取得）を目指すよう要望された。

6. 2 技術士制度の説明

講師：埼玉県支部 CPD 委員会委員 伏見隆夫（経営工学、総合技術監理）

説明の前に、技術士資格の成立経緯と技術士の様々な分野での活躍を披露したく、(公社)日本技術士会制作の「技術士に関する動画」を2本（約5分間）放映した。

その後、PPTにて、技術士法の要点、技術士資格の有用性、資格取得試験の概要が説明された。

説明では、学生が受験可能な一次試験の概要と、次の段階、即ち一次試験合格後の二次試験受験に至るまでの科学技術に係る実務経験を積む期間（過程）と二次試験の内容が述べられた。特に、実務経験を積む期間中から技術士資格に必須な資質能力（コンピテンシー）を育成し、資格取得後も常に向上させるのが重要であることが話され、二次試験ではその理解度が問われるとも話された。

説明の後、質疑応答があり、一次試験合格後の実務経験取得過程への説明、二次試験受験の部門選択の説明が求められ、技術士補の実務経験獲得の要件、二次試験が一次試験と異なる技術部門であったよとの説明がなされた。

[制度説明の内容]技術士の定義、制度、資質能力、登録者数、資格保有のメリット、技術士資格取得ルートとステップ(二次試験合格に至る道程)、一次試験の実際（基礎、適性、専門科目）・合格率、過去問勉強の重要性、資質能力の内容。

6. 3 その他(写真)

教室前の受付



制度説明の様子



以上

(記録：白岩信裕)